

事例 「好きなことを追求し、責任感と向上心を育んだこと」

私は小学校5年生から中学3年生までの5年間、放送委員会に所属してきました。声で伝えることに魅力を感じ活動が続けていく中で、市内の防災放送の声を担当させていただく機会をいただきました。自分の声が多くの人に届き、市内の地域の安全を支える一部となっていると感じたとき、言葉や声には大きな力があるのだと改めて実感しました。同時に、1つの役割を任されることの責任の重さも学ぶことができました。

この経験を通し、私は「好きなことはとことん極め、成果につなげたい」という考えを大切にするようになりました。ただ活動するだけでなく、より聞き取りやすい話し方や伝え方を日頃から意識し、小さな努力を積み重ねてきました。

これから新しく始まる高校生活では、これまで培ってきた姿勢や経験を活かし、新しい環境でも自分の興味や得意なことを深めていきたいと考えています。自分の可能性に挑戦し、成長し続けられる場所として、この高校に入りたいと強く思っています。

それが今の私の率直な声です。

